

「高岡を前へ！まちづくりミーティング」意見交換要旨【福岡総合文化センター】

質問

福岡駅に設置されるエレベーターについて、設置後のメンテナンスやその費用への対応は。

回答

ご指摘のあったメンテナンス費用は、20 年後 30 年後を考えると、大変重要な問題である。エレベーターはしっかりと守っていかなければならない。この点はあいの風とやま鉄道ともしっかり話をしてみたい。

質問

縦割り行政の改善が見られない。市長が行っている改革を広報紙などに掲載してはどうか。

回答

各課が持っている課題を共有し、何がボトルネックかを分析して、それを取り除き解決していく。そういった役割を担うため、今年度、未来課を新設したところ。

市が行っている改革を広報紙に掲載するというご意見については、進捗状況も含めてお示しできる方法がないか、考えていきたい。

質問

新聞の婚姻欄を見ると、高岡市民の市外（富山市や射水市など）への転出を目にする。一方で、市外からの転入は少ない印象。要因分析などは行っているのか。

回答

市外からの転入が少ない要因は様々あると思うが、そのような中で昨年度の高岡市への移住者は、県内 823 人中 140 人程度であった。最近の県内の傾向を見ると、南砺市の移住者数が多くなっており、大変悔しく思っている。南砺市は、一流の田舎を目指すことを一つのキャッチコピーとして打ち出している。

高岡市には南砺市のような広大な山間部はないが、立派な山や川、海がある。十分南砺市とも戦っていけると思っている。戦略をもって移住者の数をしっかりと積み上げていきたい。

質問

中央省庁からの人材派遣の考えは。

回答

国や外交の問題は私たちの市民生活に影響を及ぼす。高岡の現状を国に伝える一番大きな手段は、地区選出の国会議員に高岡の現状をお伝えしていくことであり、国の方できめ細やかに動いていただいている。

国といかに地域の課題を共有しながら、どこに窓口があるのかを見出していくことが国とのパイプの中で重要だと思っている。全国市長会、全国青年市長会など様々なネットワークを使いながら、国の目指す方向性と高岡が目指す方向性をマッチさせていくことも重要だと思っている。

現在の副市長は県の部長を務めていた方で、県とのパイプが大変太い。県とのパイプを強くしつつ、高岡テクノドームの増床やL R T化の検討など県と繋がりを持ちながら進めるべき案件をしっかりと進めていく体制を整えているところ。国からも出向いていただきたいタイミングが来ればお声がけさせていただきたい。

質問

空き家対策について一番の問題は税金。上屋を壊すと土地の固定資産税が一気に上がる。これを改善する方法はないか。また、市から空き家の件数について把握依頼があるが、その回答を受け、市は具体的に何か対応しているのか。

回答

老朽空き家を取り壊すと、家屋の固定資産税はかからなくなるが、住宅敷地であった土地は住宅用地に対する特例が適用されなくなり、税負担が増加する場合がある。その場合、取り壊し後の一定期間に限り税負担を軽減する対策に取り組む先進自治体があることは認識している。高岡にとってどのような対策をとれば、家主の方に販売しよう、あるいは貸そうと思っていただけなのか、具体的に検討しなければならない。我々としては、その調査をもって空き家対策としてどのようなことを行っていくのかをしっかりと市民の皆様にご理解いただけるようにしなければいけない。このことを関係部署としっかり共有させていただく。

質問

総合計画における公民館の位置づけは。

また、ハザードマップの位置づけは。出前講座の説明者が中身を理解していないのでは。

回答

総合計画は高岡市のまちづくりを進めるための「道しるべ」であり、個々の施設については、総合計画の下位に位置づけられる個別の計画「公共施設再編計画」に方向性が示されている。公民館については、再編計画策定時は「方針決定」の位置づけであった。その後の検討を経て、公民館等を「維持」として整理し、連合自治会の皆さんにもご説明させていただいた。

ハザードマップの内容を市の職員が把握しておらず、説明がおかしいという指摘については、大変残念ではあるが、それが事実であれば、至急、改善しなければならない。現在、新たに水害ハザードマップを作成したところであり、出前講座でもご説明できるよう準備している。一緒になって地域の安全を考えていただければと思う。

質問

福岡PAに開設されるICへのアクセス道路について、福岡消防署（国道8号線）から最短で結べる道路をアクセス道路にしてほしい。（PA：パーキング／IC：インターチェンジ）

回答

福岡PAについては、IC化を決断した。新たにアクセス道路などを整備するとなるとさらなる予算が必要であり、また、着手までの時間も必要となることから、IC化事業そのものに影響を及ぼす。

一方で、産業の目線で考えると、国道8号線から最短というのは大変魅力的な部分でもある。こういったご意見があったことを都市創造部とも共有させていただく。

アクセス道路に関しては貴重なご意見と受け止めさせていただきたい。

以上